

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、誠実に・親切に・丁寧に・公平に・迅速に・正確に・知的に・明朗にの職員行動基本8原則のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

菊池地域農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

### <投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

### <商品選定の考え方>

長期投資	長期投資を前提とした投資信託であること
手数料	手数料が良心的な水準であること
運用実績	過去の運用実績が相対的に良好であること
将来性	資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
運用体制	運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP  
[https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi\\_sintaku/select/](https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi_sintaku/select/)

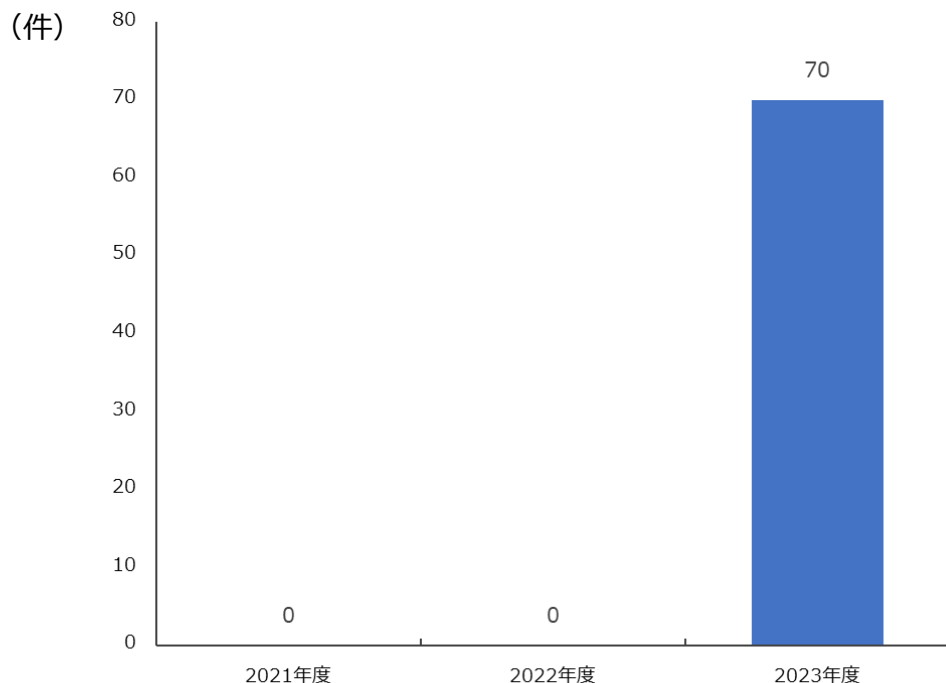
# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①

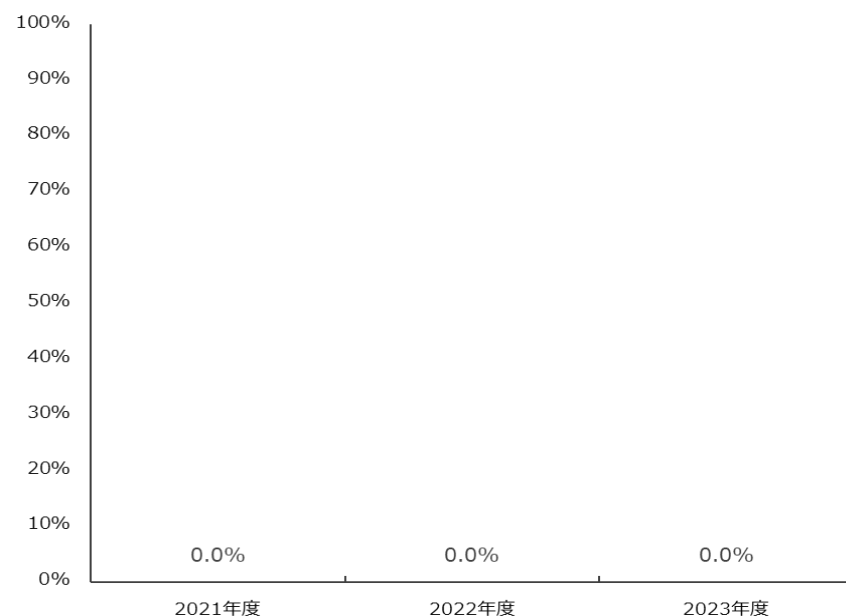
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うことに努め、投資未経験の顧客に対して資産形成のニーズに応じ「長期・つみたて・分散投資」の提案を行い、つみたて契約件数が増加し、毎月分配型ファンドを契約されたお客様はおりませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I. 取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、重要情報シート等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2023年10月から重要情報シートを導入しております。

2024年1月

### JAバンク セレクトファンドマップ

リスク・リターン 小 ← → 大

安定型 中間型(安定～中間) 中間型(中間～積極) 積極型

コア・サテライト戦略について

保有する資産を主たる「コア(中核)資産」と  
取の「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

＜イメージ＞

コア (安定型資産を主とする  
バランス型ファンド、  
安定型の債券型ファンドなど)

サテライト (積極型資産を主とする  
ヘッジ型・新興市場型・海外型ファンドなど)

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、  
国内の約6,000本の中から、  
JAバンクが独自の基準で  
長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が優的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、適度に分配金を捻出す投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって  
最適な提案を目指し、投資信託を  
厳選してご紹介します。

左からリスクの  
小さい順番に  
並んでいるんだね!

自分のスタイルに  
合ったファンドが  
分かるね!

【投資信託の概要（交付記録簿）】のご請求、お申し込みは

一定の投資性金融商品の販売・販売件に係る「重要情報シート」  
（金融商品概要書）

### 1. 当組合の基本情報（当組合はお客様に金融商品の販売【又は販売件介】をする者です）

組合名	愛知地域農業協同組合
登録番号	九州財務局長（協会）第33号
加入協会	ありません
当組合の概要を載せたウェブサイト	http://jakkochi.jp/

### 2. 取扱商品（当組合がお客様に提供できる金融商品の情報は次のとおりです）

野倉（投資性なし）	野倉（投資性あり）	—
国債株式	—	外国株式
円債債券	—	外国債券
円債債券（個人向け国債・新卒国債等）	—	外国債券
特種な債券（社債等）	—	ETF、ETN
ファンドラップ	—	その他の上場商品
REIT	—	—
保険（投資リスクなし）	—	保険（投資リスクあり）
これら以外の商品	—	—

※他に共有を取扱っております。

### 3. 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

JAバンクでは、いろいろな「投資に関する方針」にあった商品を選ばず、一定の商品数に絞って「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。

「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な商品の調査実施などのモニタリングも行っております。

①長期投資 将来の備えに際して、「長期投資」を前提とした投資信託であること（いわゆるターマ型ファンドではないこと）

②手数料 手数料が優的な水準であること

③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

④将来性 これらから選定して「資産を蓄積していく」商品を選定する際には、適度に分配金を捻出す投資信託ではないこと

⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

上記の考え方については、ホームページにも掲載をしております。  
http://www.jabank.jp/sp/tameru/bousisintaku/select/

なお、投資に関する好みについては、JAバンクでは、顧客組合員・利用者の皆さまのリスク許容度（※1）を確認し、リスク許容度に合った商品ラインナップにご案内しております。

※1：リスク許容度とは、どの位のリスクを許容できるかを客観的に評価するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4段階とし、それぞれのリスク許容度に基づいた商品ラインナップをご案内しております。

### 4. 苦情・相談窓口

当組合お客様相談窓口	0968-23-3504
加入協会共通の相談窓口	ありません
金融庁サービス利用相談窓口	0570-016811（03-5251-6811）

# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

- ・組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しています。
- ・営業部門から独立した利益相反管理統括部署はを設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- ・組合員・利用者の利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引をあらかじめ基本類型として、次の通り定めています。
  - ①利用者 と 当JA等の利益相反（自己取引類型型）
  - ②利用者相互間の利益相反（双方代理類似型）
  - ③当JA等が利用者との関係から得た情報の不当利用（情報不当利用型）

## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

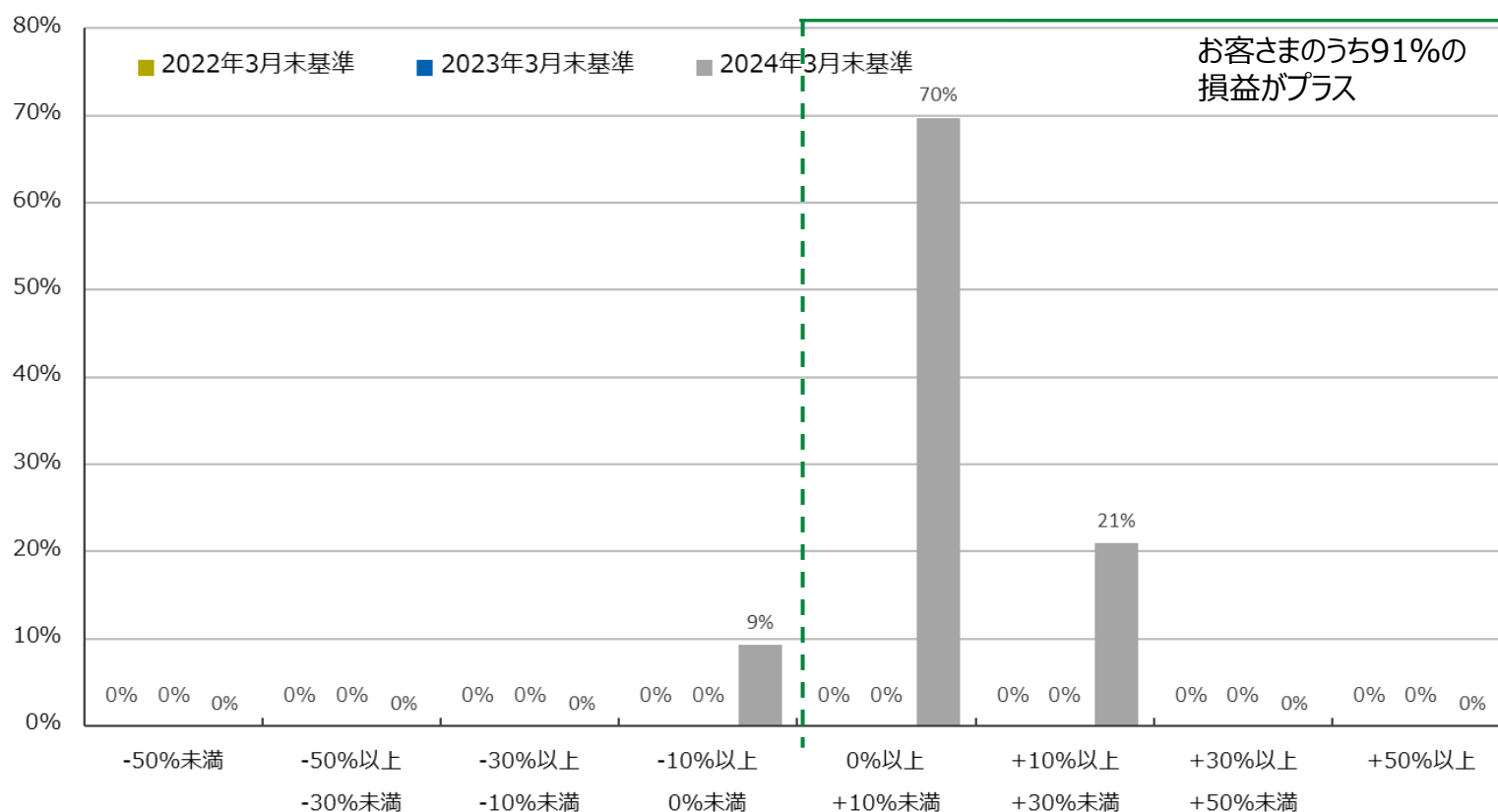
【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

- ・当組合は組合員・利用者の皆さまに最適な商品の提案を行うため、各種研修への積極的参加、資格取得を通じて金融リテラシーの向上を図り、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。  
（補足）2023年度は、「銀行業務検定 投資信託3級」合格者1名  
「第一種証券外務員資格」合格者20名 となっております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の91%のお客さまの損益がプラスとなりました。

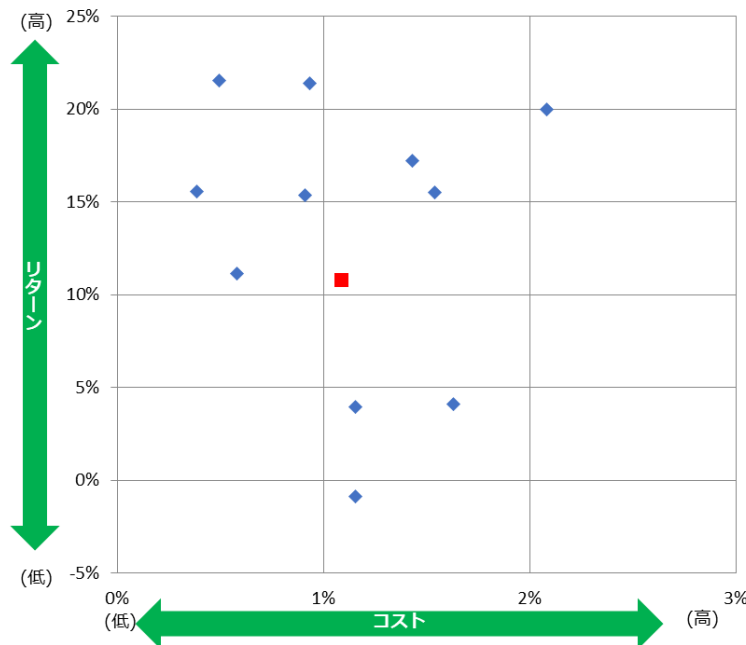


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

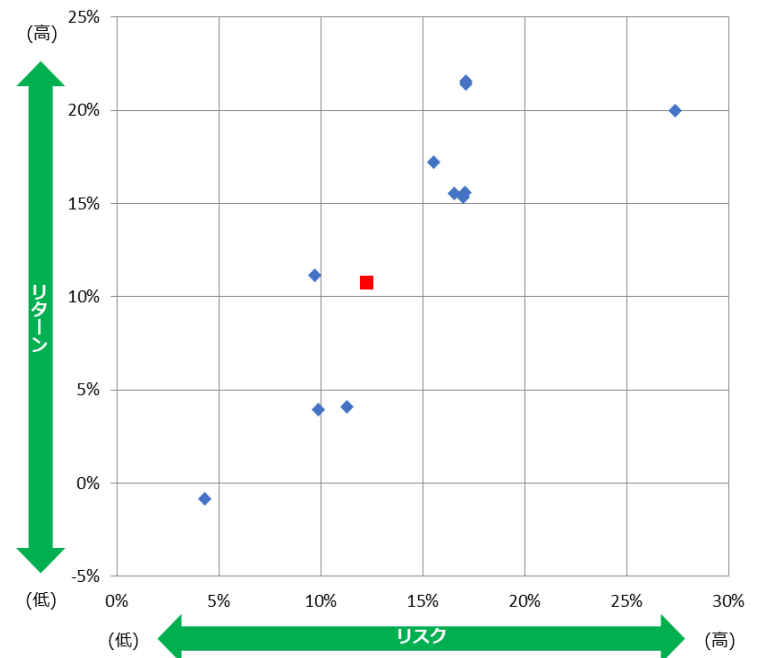
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.09%、平均リスク12.24%に対して、平均リターンは10.77%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
4	HSBC世界資産選抜 育てるJ-1(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
6	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.77%	12.24%	1.09%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。